

第 327 回静岡エフエム放送番組審議会議事録

1. 日 時 平成 29 年 1 月 17 日 (火) 16:00～17:20
2. 場 所 静岡エフエム放送本社会議室
3. 番組聴取合評 [番組名] PREMIUM WORLD
[放送日時] 平成 28 年 12 月 30 日 (金) 18:30～18:55
[出演者] LUCY KENT
4. 出席者 [委員] 委員長 木宮敬信 副委員長 角田哲康
委員 山本りさ 委員 服部乃利子
- [会社] 代表取締役社長 営業本部長 上野豊
常務取締役放送事業本部長 竹内照夫
放送事業本部副本部長 兼 編成制作部長 久保田克敏
編成制作部副部長 寺田和史
5. 事務局報告
- 今年度営業状況の件
 - V-LOW マルチメディア 浜松地区試験電波開始の件

6. 番組審議

[対象番組] PREMIUM WORLD
[放送日時] 平成 28 年 12 月 30 日 (金) 18:30～18:55
[出演者] LUCY KENT
[番組内容] 言葉と音楽で紡ぐ”音の世界紀行”。ルーシー・ケントがプレミアムな時空空間にナビゲートします。

[聴取・合評での主な意見]

角田副委員長 ジェット・ストリームの雰囲気がある。ルーシーさんの喋りは、古くて懐かしいが、英語と日本語の切り替えが、少し嫌味っぽい。今回の舞台はポルトガルだったが、もう少し現地を想起させる選曲があっても良い。例えばイグニッションのSEを入れるなど、ナレーションにもう少しドライブ感が欲しい。また、車の具体的なインフォメーションやディーラーの場所を入れるなど、購買層に訴求力のある情報を織り込んではどうか。

- 山本委員 喋りもゆっくりで、テンポも番組コンセプトに合っている。しかし、個人的にずっと聴いていたいかといえば、疑問だ。ナレーションも完全原稿読みでルーシーさんの個人的なコメントもなく、流れてしまう。
- 服部委員 全編雰囲気があり、運転しながら聴くには、聴き易いテンポだ。喋りの抑揚は、やや奇異に感じる。選曲は、夕～夜にかけてぴったりだと思う。ルーシーさんの英語は流暢だが、曲紹介まで英語の必要はあるのか？また、登場する車のスペックを感じさせるナレーションがあっても良いのではないか。
- 木宮委員長 同業他社乗り合いの提供形態は画期的で、4年続くのも評価の裏返しだろう。他の番組と比べて異質で、評価が難しい番組だ。キーワードである「プレミアム」の具現化が難しい。今回で言えば「ジャガーで走るエボラの街」ではなく、「エボラを走るなら、ジャガー」という方向性のナレーションにする工夫が求められる。
- 角田副委員長 各社が宣伝効果を期待するのであれば、フォーマットの変化が必要だろう。index 的な告知があっても良い。ナレーションからは運転するイメージが浮かばない。
- 会社サイド 前回(第 326 回)では、ラジコ聴取のキッカケになる、などのご意見を頂きました。制作元の民放連にも報告致しました。今後の番組作りに反映させ、改善するようにいたします。

次回開催日 平成 29 年 2 月 7 (火) 11:50~13:00 を予定

以上

番組審議会委員長

木 宮 敬 信